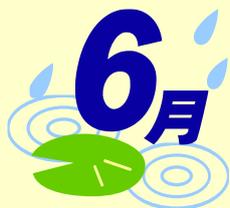


緑が丘だより



真岡中



教育目標

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 心豊かな生徒
- 3 たくましい生徒

## 校長室から

### 自分の判断で適切な行動を！

11日(土)に、3年ぶりに保護者を招いての運動会(スポーツフェスティバル)を開催しました。これまでの、来賓を招待し、入場行進、ラジオ体操、徒競走…といった従来型の運動会とは少し趣を変え、午前中に球技大会、弁当を教室で食べ、午後にはクラス対抗の学年種目を行うという、生徒主体の大会にしました。時期も9月から6月に変更し少しでも熱中症のリスクの軽減を図りました。午後からの参観となりましたが、保護者の目があるとないとは、こんなにも違うのかというほど、生徒たちは盛り上がり、力いっぱい闘う姿が見られました。わざわざご来校いただいた保護者の皆様には、ご声援ありがとうございました。

また、5月～6月初旬にかけて春季各種大会が開催されました。郡大会を勝ち抜き、多くの部が県大会に出場しましたが、中でも、卓球女子団体の県大会制覇、陸上部の長島さんが女子800m大会新での優勝など、多くの部活動の活躍が見られました。また、保護者の入場制限や拍手のみの応援など、制約はあるものの、少しずつ旧来の状況に戻りつつあります。来年度からは春の大会がなくなり、新人大会後は総体のみとなる予定となっております。最後の春の大会を締めくくってくれました。

最近、コロナよりもむしろ熱中症に注意を払わなければならない日が続いています。体育の授業や屋外での活動など、マスクを外しても良いと言っているのですが、中学生はなかなかマスクを外したがりません。マスク生活に慣れてしまったのか、はたまた、自分の顔をさらけ出すのが恥ずかしいのか。最近の報道では、気温27～8℃の屋内でも、集団で熱中症になった事例がありました。中学生には、人からの指示を待つのではなく、自分の体調などを考慮し、自分で判断する力を身に付けてほしいと思っています。ご家庭でも、是非、本人に考えさせ、本人なりの考えで行動させるよう、よろしくお願いします。

今月末には、修学旅行が控えています。すでに事前の学習が始まっていますが、3年ぶりに京都、奈良方面に行くことになりました。2日目は終日班別行動となります。自覚ある行動を願いたいものです。それが終わると、いよいよ7月5日には陸上大会、9日から各種大会と、3年生にとって最後の大会となる総合体育大会の都市予選が始まります。是非、本校の生徒たちには、真岡中生としての自信と誇りを持って行動し、戦ってほしいと思っています。



【スポーツフェスティバル】

## ◇スポーツフェスティバル

6月11日(土)雨天が心配されましたが、スポーツフェスティバルを実施しました。学年別の学級対抗で、5種目(ドッチボール、フットサル、ソフトテニス、バドミントン、卓球)に分かれてそれぞれの会場で熱戦を繰り広げました。その後、学年種目(1年生:台風の目、全員リレー、2年生:綱引き、全員リレー、3年生:玉入れ、全員リレー)を行い、クラスの熱い思いと団結力が最高潮に達しました。



## ◇避難訓練の実施

6月17日(金)、火災・地震などの災害から身を守ることを目的に、避難訓練を実施しました。初めに緊急放送があり、その後校内放送で指示があり避難が始まりました。生徒は、無言で避難経路と危険箇所を確認しながら校庭(第1避難所)へ避難しました。



## 栃木県春季各種大会 真中魂で大健闘

### ・栃木県中学校春季大会

陸上競技	共通女子	800m	1位 (大会新)
	共通女子	1500m	2位
	1年女子	800m	1位
	共通男子	800m	4位
バドミントン	シングルス	ベスト8	
卓球	女子団体優勝	男子団体	3位
	女子シングルス	ベスト8	
	女子シングルス	ベスト16	
剣道	男子団体	ベスト8	

※芳賀地区の代表として、県大会に出場した部活動

- ・卓球(男女)
- ・バドミントン(男子)
- ・陸上競技(男女)
- ・剣道(男女)
- ・バスケットボール(女子)
- ・サッカー
- ・柔道(男女)

※どの部活動も、今まで練習してきた成果を存分に発揮しようとひたむきに頑張っていました。運動部の3年生にとっては、次の総体が中学校で最後の大会となります。個人やチームの目標に向けて日々の練習に励んでほしいと思います。



左は、真岡中学校ホームページのQRコードです。できる限り、行事や日頃の生徒たちの活動の様子を掲載していきますので、ぜひ、ご覧ください。また、お子様のことでお困りのことやご相談、またはうれしいお知らせがございましたら、遠慮なく学校までご連絡下さい。基本的に、教頭:上野が窓口となって対応させていただきます。真岡中学校は、地域の皆様や保護者の皆様と共に生徒を育む姿勢で取り組んで参ります。

